

県立病院として求められる役割について

項目	委員の意見	今後の方向性
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・良質なリハビリを提供しつつ、人材育成にも力を入れていくべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験に富んだ療法士の高い技術を普及させるため、実習生の受入れの拡大や医療従事者等への研修の充実により、地域医療を担う優秀な人材の育成を行う医療機関を目指す。
感染症対応 災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として、感染症拡大時には病床を確保すべきである。 ・コロナ陽性患者に対するリハビリはコスト面では割に合わないが、その後の呼吸不全、筋力低下、併存疾患などを考えると、民間病院では対応できないことである。コロナ患者が減ったとしてもこうした対応は災害医療と同様に必要である。 ・災害への対応と平時の病棟の活用について考えておくべきである。 	<p>【感染症対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな感染症が発生し医療提供体制整備の要請があった場合は、柔軟かつ弾力的に対応する。 ・リハセンの機能、特性及び専門人材を活かし、コロナ患者及び陰性後の患者に対するリハビリの提供などの取組を推進する。 ・入所施設に対する感染予防個別指導では、必要に応じてオンラインによる支援も行う。 <p>【災害時対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に、避難所に避難できない障害者で医療が必要な避難者の受入れを行う。感染症拡大時又は災害時に迅速に病床の転換できるよう、現在の病床数を維持し、平時は入院期間が短い患者を受け入れる病棟として運用する。